

令和4年度（2022年度） 第1回越谷市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会会議録

令和4年（2022年）8月22日（月）

14：00～15：20

本庁舎8階第一委員会室

○委員定数（17名）

○出席委員（11名）

関根 英子	委員	越谷市私立保育園・認定こども園協会
佐藤 勝	委員	越谷市民生委員・児童委員協議会
佐藤 辰之	委員	越谷市医師会
五味田 真紀子	委員	越谷市子ども会育成連絡協議会
中岡 朋代	委員	越谷子育てサークルネットワークの会
大西 孝一	委員	越谷商工会議所
齋藤 宏之	委員	埼玉県越谷児童相談所
越智 幸一	分科会長	埼玉県立大学
日比谷 富貴子	委員	越谷地区労働組合協議会
安井 弘恵	委員	公募委員
後藤 孟司	委員	公募委員

○欠席委員（6名）

竹村 厚子	委員	越谷市私立幼稚園協会
武藤 健司	委員	越谷市小学校長会
畔上 順平	委員	越谷市PTA連合会
長島 祐輔	委員	埼玉県立越谷西特別支援学校
宮地 さつき	副分科会長	文教大学
平川 好子	委員	公募委員

○事務局出席者（18名）

松尾 雄一	子ども家庭部長
永瀬 一広	子ども家庭部副参事（兼）子ども施策推進課長
豊田 裕二	子ども家庭部副参事（兼）保育入所課長
森田 昌明	子ども福祉課長
小澤 正和	青少年課長
渋谷 博之	子ども福祉課 調整幹（兼）児童発達支援センター所長
福井 宏樹	保健医療部 健康づくり推進課 調整幹
石井 和義	子ども施策推進課 副課長
市川 今日子	子ども福祉課 副課長
小澤 幸太	保育入所課 副課長
佐藤 大智	青少年課 副課長
黒沢 和人	障害福祉課 副課長
杉野 一樹	障害福祉課 副課長
市川 祥子	子ども施策推進課 主幹
菅野 佑也	子ども施策推進課 主査
永田 達也	子ども施策推進課 主査
渡邊 正広	子ども施策推進課 主任

1 開会（14：00～）

(1) 会議の成立について

越谷市社会福祉審議会条例第6条第3項の規定では、会議は委員の半数以上の出席で成立するものとされており、当日は委員総数17名のうち11名が出席（途中退席1名）しているため、会議が成立することを報告

(2) 委員等の紹介

各委員・各職員の紹介は、委員一覧並びに職員一覧及び席次表の確認をもって行った。

(3) 傍聴確認について

本審議会は、越谷市社会福祉審議会条例施行規則第5条の規定に基づき、原則公開であることを説明し、当日の傍聴人は0人であった。

2 議事

○協議事項

(1) 第2期越谷市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、次のとおり質疑・応答があった。

委員：資料1の1ページについて、2見直しの概要(3)確保方策の「ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、確保方策が充足している乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)、養育支援訪問事業、地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業については、確保方策は変更いたしません。」という文章だと、感染症の影響があっても確保方策を変更しないのか、感染症の影響により確保方策を変更しないのか、どちらなのかわからない。

事務局：「ただし、」を削除し、「新型コロナウイルス感染症の影響により」を「新型コロナウイルスの影響があるものの」へ変更する。

委員：了解した。

委員：現在行っている計画について、よく考えてられていると思うが、あえて言うのであれば、児童養護施設は越谷市に一つもない。虐待に関する件数は、近年増えている。様々な施策を行ってはいるが、児童養護施設への目配りが足りないため、フォスターリングの視点も欠けている。子どもの養育に関する施策も足りていない。ファミリーソーシャルワーカー・養子縁組等々各種施策にも影響が波及する。そのため、ここで問題提起をさせていただく。

事務局：虐待については、令和4年4月1日より、子ども家庭総合支援拠点の機能を子ども安全室に設けた。虐待担当職員の人員も、保健師のケースワーカー2名・心理担当支援員を2名追加し、増強を図った。また、要保護児童対策地域協議会の代表者会議・実務者会議に参加し、情報共有も図っている。

委員：確かに姿勢は見えるが、社会的養護のための器が少ない。今日的には必要だと思っている。整備について検討してほしいと考えている。

議長：越谷市に今後さらに取り組んでいただく要望としての取り扱いとさせていただく形でよろしいか。

委員：承知した。

○報告事項

(1) 第2期越谷市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、次のとおり質疑・応答があった。

委員：8ページの「乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)」は、量の見込みより少ない件数となっている。これは、近年新型コロナウイルス感染症の影響によりお断りされるケースが増えているためという説明があったが、流行する前まではどのくらいの実績だったのかが知りたい。また、意見として、助産師の訪問は大変意義のあるものなので、逆にお断りした方々へのリモートなどオンラインでの支援などが必要だと思う。

事務局：新型コロナウイルス感染症の流行前の実績は、おおよそ9割で、流行後は7割5分くらいの実績となっている。断る方の多くは、感染症が心配という

方々だが、里帰り出産の方々もいらっしゃる。里帰り出産の方は、希望があれば里帰り先で訪問を受けることができる。また、現在リモートでの訪問事業は行っていないが、希望がある方については、電話相談を行っている。

委員：先ほども要望として意見を述べたことだが、7ページ子育て短期支援事業の事業内容に児童養護施設は視点外のようなものであった。「児童養護施設等の保護を適切に行うことができる施設において養育・保護を行う事業です」と明記されている。ここには、児童の養育・保護においては、児童養護施設が重要な社会的養護の器であるという視点があるので、フォスタリングやファミリーソーシャルワーカーなどに波及していくことを考え、検討してもらいたい。また、11ページの一時預かりのようなスポット的なものでは、親子関係を修復構築できるものではない。長期的な社会的養護の器を用意すべきだと考えているので、改めて意見を述べさせていただく。

議長：社会的養護の取り組みへの意見として賜るということではよろしいか。

委員：承知した。

(2) 令和4年度(2022年度)における保育施設の整備等について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

(3) こしがや「プラス保育」幼稚園事業について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

(4) 木育推進事業について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

(5) 第5次障がい者計画の進捗状況について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

(6) 第6期越谷市障がい福祉計画・第2期越谷市障がい児福祉計画の進捗状況について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

3 その他

事務局から以下の事項について連絡

(1) パブリックコメントについて

第2期越谷市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについては、12月頃にパブリックコメントを実施する予定

10月中にパブリックコメントに係る資料を各委員に郵送する予定であるため、資料の確認をお願いしたい。

- (2) 次回の児童福祉専門分科会の開催予定について
令和4年1月に開催を予定
会議開催の1ヶ月前を目途に郵送にて案内をする。

4 閉会（～15：20）